

渡良瀬遊水地

の
歴
史

戶羽星輝
渡辺陸

渡良瀬遊水地とは？

渡良瀬遊水地とは、水害を防ぐため、一時的に水をたぐわえる遊水地の事です。作られたのは明治四十三年と大正十一年の間です。面積は三千三十万平方キロメートルです。東京ドームで表すと二十二个分です。二千十二年には、自然ヤムサール地を守るため、ラムサール

かのありま
 その大きさは
 渡良瀬遊水地
 の約半分を占
 めます。

渡良瀬遊水地からきた理由

の間です。十萬平方キロ。東京トーム二個分です。は、自然や温ラムサル条約に登録さ
 れました。渡良瀬遊水地と、町を壊さない派の争いには外国から植ちろん壊す派が勝ちました。未だ魚や、物かいます。渡良瀬遊水地にはヨシ原ましました。後でも反対しつづけ

渡良瀬遊水地ができた理由には、足尾銅山が関係して、開発により排煙した鉱毒が下流まで来て、町を壊したため、町を壊し、渡良瀬遊水地を作りまし

て、渡良瀬遊水地を作りました。しかし、渡良瀬遊水地を作るときに、町を壊す派と、町を壊さない派の結果は、もちろん壊す派が勝ちました。しかし、壊さない派は、

負けた後でも反対しつづけました。



足尾銅山

鉆毒母事件とは

足尾銅山鉍毒事件とは十九世紀後半の明治時代初期から栃木県と群馬県の渡良瀬周辺で起きた、日本初となる鉍毒事件の事です。原因は、開発により排煙・鉍毒がス・鉍毒等の有害な物質のせいで起きました。